

社会人対象講座 キャリアアッププログラム

Basic subject Career Up Program

広島経済大学キャリアアップ・プログラム・メールマガジン 第13号(2010.1.28 発行)
(なお、本メールが不要な方は、tk-ok@hue.ac.jpまで、ご連絡ください。)

【目次】

- ・巻頭言……………CPコーディネーター 細井謙一
- ・防災対策と広報～1.17に思う…教授 松井 一洋
- ・3学期講義風景……………月曜日 グローバルビジネスの事例研究
火曜日 マーケティング演習 教授
- ・3学期がスタートしました……………事務局より

■巻頭言

キャリアアップ・プログラム(CP)3学期(1月・2月開講分)の講義が始まりました。今期、私も「ビジネスマンのための心理学」という科目を担当させていただいております。第一回の講義では、モチベーションのお話などをさせていただきました。

モチベーションについては、「モチベーションの理論など知らなくても、どうせ人間は尻に火がつけばやる気になるんだよ」という方もいらっしゃると思います。その典型的な例が、今まさに大学で行われている定期試験ですね。普段あまり勉強しない学生も、さすがに試験の時期になると、なんとか単位を取ろうと必死です。これについては、私自身もそうでしたし、身に覚えのある方も多いのではないのでしょうか。

しかし、ここに一つの落とし穴があります。「一夜漬けで覚えたことは、一日で忘れる」などとよく言います。尻に火がついて、やっつけ仕事で問題を片づけても、結局、本当の意味での能力は身につかないことが多いですね。やはり何事も、継続してこそ本当の能力が身に付きます。モチベーションも一時的に高めるだけでなく、高い状態を維持することが重要です。

手前みそで恐縮ですが、CPを受講するというのは、モチベーションを維持するためのとてもよい方法です。6週間、一つのことをやり続ける。これはなかなか大変だとは思いますが、独学でやるより、講座に通うほうがはるかに持続しやすくなります。

そして、6週間がんばれば、きっと何かが身に付きます。

講座終了まで、しっかり頑張りましょう！



■ 防災対策と広報～1. 17に思う

広島経済大学教授 松井一洋(「企業広報論」担当)

またもや人間社会を一瞬にして恐ろしい不幸に陥れたハイチ地震の報道に、16年前の「あの日の激しい揺れ」を思い出しながら、1.17の朝を迎えました。そして、いくら政治や経済が混迷している昨今とはいえ、阪神淡路大震災の関連報道や特集記事が極端に少なくなってきたことに少し心を痛めています。

思うに、人間は、過去の不幸なできごとの記憶を忘却していくことも、未来に向かう限られた時間の生の営みにとっては必要な要件のひとつなのかもしれません。しかし、社会全体としては、より安心安全なまちづくりのために、絶対に忘れてはならない貴重な歴史(災害文化)です。

ところで、大災害について振り返るとき、マスメディアの報道ですら、ときとして当時の特定の個人の物語を取り上げます。いわゆるモデル化です。「人格化による複雑性の縮減」という安易な取組みです。しかし、ひとそれぞれの多様な状況のなかで、21世紀の自然災害との「共生」社会の創造を目指すには、そのような個別の物語では語りつくせないことのほうが多いはずです。

さて、今日は、企業広報論的な立場からの反省点を二つあげておきましょう。

一つは、防災まちづくり(防災対策)について、行政や市民の側からマスメディアに対して、どのようなパブリシティ(情報提供)がなされてきたのかが問われるでしょう。このキャリアアップ・プログラム「企業広報の事例研究」(2008)、「企業広報の基礎」(2009)で、一緒に学んできたように、マスメディア報道の多くは、われわれの側からの「働きかけ＝広報(パブリック・リレーションズ)」の結果です。

次に、マスメディアに対しては、防災に関する社会への「議題設定」(アジェンダ・セッティング)についての重要性の再確認を求めましょう。これからも必ずや起こりうる大災害について、マスメディアとして主体的かつ日常的に、「警鐘」(木鐸)を鳴らし続けるという社会的使命をどうか忘れないでいただきたいと願います。

この災害大国日本に生きる以上は、どこにいても、明日にも襲ってくるかもしれない大災害に対して、かたときもハードとハート(心)の備えを忘れないようにしたいものです。(了)

■ 3学期講義風景



月曜日 グローバルビジネスの事例研究



火曜日 マーケティング演習

■事務局よりお知らせ

3学期がスタートしました。

初めてお会いする方や顔なじみの皆さんの顔を拝見すると、一日の仕事が終わって疲れていらっしゃるにも関わらず、時にはお仕事の途中で一旦切り上げCPの受講にハツラツとしたお顔で立町キャンパスに集われ、また講義が終了し満足感に満ちたお顔で帰られる姿をお見送りする時は、キャリアアップ・プログラムをお手伝いできる喜びを感じる時です。

逆に、疲れた表情でお帰りになる方や、何か納得のいかないような表情でお帰りになる方がいらっしゃる時には、色々と先生と何が原因だろうかと考え話し合いをします。

いずれにせよ、お仕事がお忙しい中を時間の工面をされ受講していただいているのですから、特に3学期で初めてキャリアアップ・プログラムを受講いただいた方にとって、また何度か受講いただいております方が、このキャリアアップ・プログラムを満足し充実され、お仕事に役立てていただけるかが我々の責務だと思っております。

CPに関するご質問、ご意見等がございましたら何なりと事務局へご連絡ください。

近々に平成22年度のCPラインナップが出来あがりますのでご期待ください。

CPに関する詳しいご説明をご希望の企業・団体の方へは、お伺いしますのでご遠慮なくお申し出ください。

tk-oki@hue.ac.jp CP事務局 沖まで



Be Student-oriented
—すべては学生のために—

HUE 広島経済大学
CAREER UP PROGRAM